

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課
担当課長名：服部 卓也

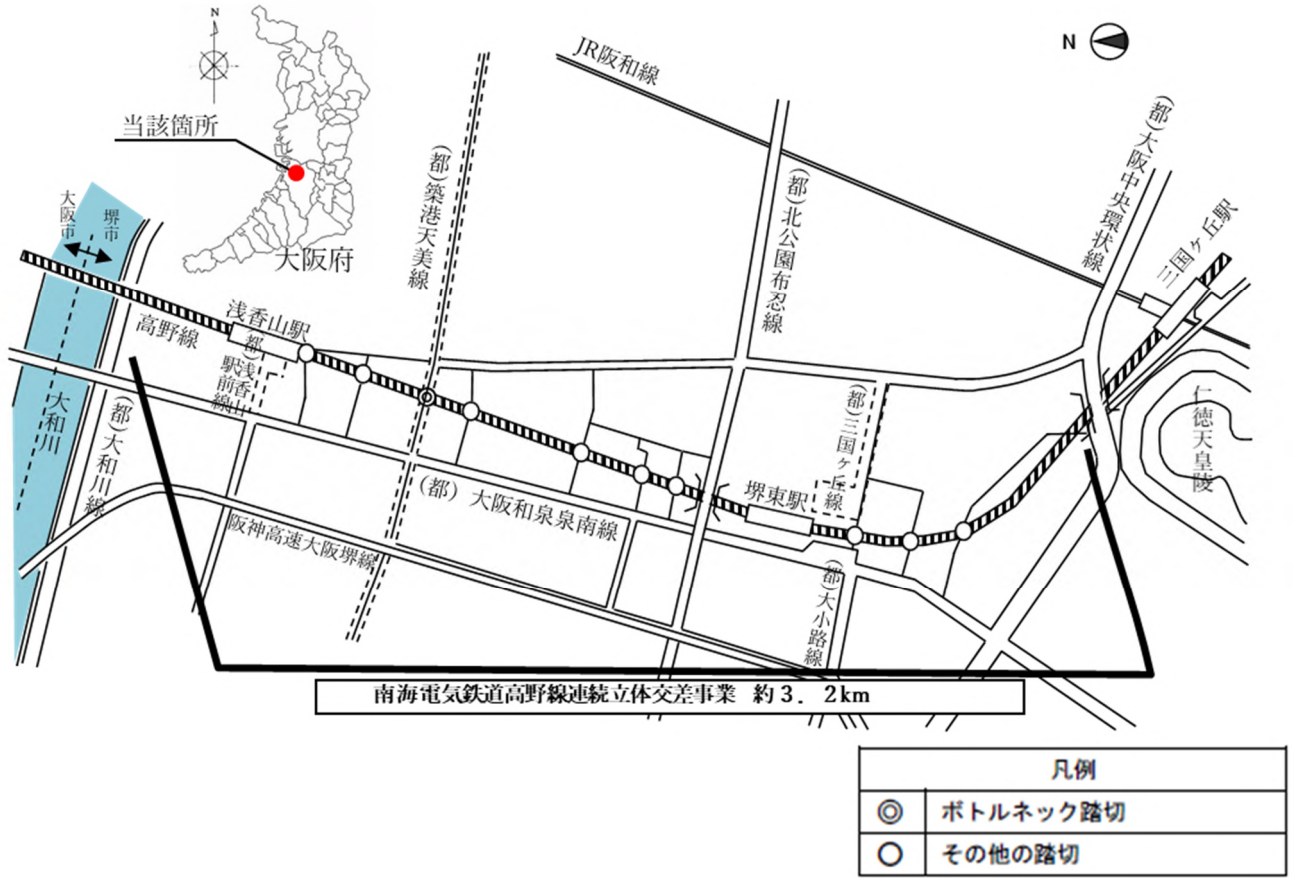
事業名：連続立体交差事業 南海電気鉄道高野線 （浅香山駅～堺東駅付近）	事業区分：連続立体交差	事業主体：堺市
起終点：自：大阪市堺市堺区遠里小野町 至：大阪市堺市堺区東永山園		延長：3.2km
事業概要 本事業は、南海電気鉄道高野線の浅香山駅～堺東駅付近約3.2kmにおいて鉄道を高架化することにより、10箇所の踏切を除却し、都市内交通の円滑化を図り、市の顔としてふさわしい市街地の形成による都市の活性化を図る事業である。		
R3年度事業化	R3年度都市計画決定	R4年度用地着手
R6年度準備工事着手予定		
全体事業費：約565億円	事業進捗率：約2.1%	供用済延長：0km
計画交通量：129,640台時/日（踏切交通遮断量）		
費用対効果	B/C （事業全体） 1.1 （残事業） 1.1	総費用：375/386億円 （残事業）/（事業全体） 事業費：374/384億円 維持管理費：1.1/1.1億円
		総便益：423/423億円 （残事業）/（事業全体） 移動時間短縮便益：366/366億円 走行経費減少便益：32/32億円 交通事故減少便益：25/25億円
		基準年：令和5年
感度分析の結果 （事業全体）交通量：B/C=0.99～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.00～1.2（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.03～1.3（事業期間±20%）		
（残事業）交通量：B/C=1.02～1.2（交通量±10%） 事業費：B/C=1.02～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.1～1.3（事業期間±20%）		
事業の効果等 ○駅周辺整備による市街地の活性化 ○踏切渋滞の解消 ・踏切渋滞の解消による周辺道路の交通の円滑化 ○歩行快適性の向上 ・踏切除却による歩行者・自転車利用者の移動円滑化と利便性の向上 ・歩行者や自転車と自動車交通の分離による安全な通行環境の確保 ○緊急車両のアクセシビリティの向上 ・緊急車両の搬送時間短縮による救命救急活動の支援 ○高架下空間の活用 ・商業施設の誘致により、人々が集う活気と賑わいある空間を創出 ・駐輪場、駐車場等の整備により、駅周辺の安全かつ円滑な交通を確保 ○防災性の向上 ・津波避難時の避難路形成		
関係する地方公共団体等の意見 早期実現の要望を受けている。		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。		
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収に伴う測量調査、鉄道工事に関する調査設計を実施中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も用地の取得を継続して行い、R6年度から準備工事着手を予定している。		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。		

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。